

進路だより

第 2 号



令和4年10月13日
青森県立八戸東高等学校 進路指導部

◇夏の活動報告◇

① 学習支援ボランティア

7月27日～29日、八戸市立吹上小学校で学習支援ボランティアを実施しました。昨年度は本校3年生のみで学習支援を行いました。今年度は1・2年生も参加できました。小学生と同じ目線で向き合い、学習や自由工作の補助や宿題の採点を行いました。以下に生徒の感想の一部を紹介します。

- ・私の教えた女の子はとても礼儀正しく、私の方も学ぶことがたくさんあると思いました。
- ・まわりを見る力はとても重要なことだと思うので、これからも意識して生活しようと思いました。
- ・小さい子と接する機会が少ないので、貴重な体験になりました。
- ・コミュニケーション能力や表現力を身に付けたので、この経験を、今後誰かに説明するときに生かしていきたいです（複数）
- ・教育現場で実際に見た子供の特徴を、今後のインクルーシブ教育や共生社会実現のために生かしていきたい。
- ・これから部活でも委員会でも後輩に教えることが増えてくるので、相手の立場に立って考えて、教えたいと思いました。
- ・最後に小学生から「ありがとうございました」と言ってもらえて嬉しかったです（多数）
- ・機会があったら、また参加したいです（多数）

小学生に勉強を教えるという立場でしたが、小学生から学んだことも大きかったようです。2時間という限られた時間ではありましたが、コミュニケーションを通じて高校性の方も一回り成長したように感じました。

さて、残念ながら今年参加できなかった生徒は、ぜひ来年参加してください。また、今回参加した生徒は、コロナ禍の中で参加を受け入れてくださった吹上小学校や、参加してくれた児童のみなさんへの感謝の気持ちを忘れず、今後の生活や学習に生かせるようにしてください。



② キャリアアッププログラム(表現力向上集中講座)

7月30日・31日の2日間、3年生の学校推薦型・総合型選抜を希望する生徒を対象に、『表現力向上集中講座』を開催しました。この講座は、グループワークや教員との面談を通して、自分が興味を持つ学問領域への理解を深め、志望理由書の作成につなげるものです。

今年度はコロナ対策により、例年とは異なり各教室での実施になりましたが、志望理由を固めるためには充実した2日間となったようです。以下に生徒の感想を掲載します。

志望理由のプレゼンテーションをする中で、考えていることを言葉にして伝えることが難しいことがわかったので、普段の生活からニュアンスだけで乗りきるのではなく、きちんと言葉として伝えるように意識したい。考えて話すことの大切さを学んだ。

この講座を受けて、自分が大学で何がしたいかが明確になったと思う。大学のことはもちろん、地域の問題や経済の動向も調べていくうちに、自分の考えがまとまっていったと思う。互いに書いたものを共有することで、自分では気づかないようなところを指摘され、よりよい志望理由書を作成することができるようになった。

最初に志望理由書を書いたときは、良いものが書けたと思っていましたが、先生や友達からアドバイスを受け、具体性がないことや、しっかりとしたデータがなく、根拠が明らかになっていないことがわかりました。自分では大学や職業について十分に調べたつもりでも、まだ調べ足りない部分もありました。調べて疑問に思ったことやもっと聞きたいと思ったことは、インタビューなどをして、良い志望理由書にしていきたいです。

③ 介護出前講座・看護出前授業

7月26日、株式会社リブライズの下沢氏、株式会社サンメディカルの森山氏と中河氏による介護出前講座が、7月29日、青森県看護協会の山端氏による看護出前授業が行われました。現場で働いている方の生の講義を聞き、職業に対する知識や意欲を高めることができました。以下に生徒の感想を記載します。

- ・介護は正解のわからない、とても奥の深い仕事なのだと思う。
- ・大変さの中にやりがいを感じられる素晴らしい職業だと思いました。
- ・もっと多くの人に感謝されるべき仕事だと感じた。
- ・将来、福祉関係の仕事に就きたいと思っているので、今日の経験をいかしていきたいです。
- ・大変な仕事だという印象は変わりませんが、それ以上に良い部分をたくさん知ることができました。

学んだことを、今後の生活や進路決定に生かしてほしいと思います。



